

森(モリ)・盛(モリ)・オホーツク

No. 1 平成27年4月27日

林野庁 北海道森林管理局

常呂川森林ふれあい推進センター

森林への思いは千差万別

【国有林職員が民有林行政を学ぶ】

4月16日、オホーツク総合振興局東部森林室の協力を得て北見広域森林組合及び同北見工場で「民有林行政実務見学会」が行われ、当センターから2名（管内各署等から11名）が参加しました。

これは、国有林と民有林との連携強化を一層推進するために行われたもので、今回は民有林の森林整備事業の実態、木材加工・流通について報告をいただきました。



その中では「森林計画作成の手順」「山林所有者の合意形成」「木材の流通」など、民有林行政の進め方や「森林所有者の高齢化による整備意欲の減退」といった悩みについて話され、国有林の枠から出て「林業」を考えることができました。



森林・林業を考える上で「所有者により価値観が違う」というのは当たり前…ということは森林と関係なく生活している一般市民等の森林への思いは千差万別、森林ふれあい活動の基本に立ち返らねば…。

協力お願いしま～す！

緑の募金街頭キャンペーン

4月23日、北見駅前～2条通り商店街で「緑の募金街頭キャンペーン」が行われました。

出発式では、主催者である緑と花の市民の会（田巻会長）より、「本日は好天に恵まれ、6団体、60名の参加により『緑の募金』活動を行うこととなりました。地球環境問題など、

みどりに対する関心は高まっており、この活動を通じて『木や山に優しい気持ちを伝えよう』、交通事故に気をつけて活動願います。」とのあいさつがありました。

その後、3～4名に分かれて「緑の募金への協力お願いしま～す」と街頭募金に取り組みました。

なお、北見市の緑の募金運動期間は、5月31日までです。



～発行に当たり～

常呂川森林ふれあい推進センター 所長 白藤末人

これまで当センターでは、ホームページで新着情報としてイベントの実施内容や開催案内等を掲載してきましたが、内容の充実を図るとともに印刷配布としての活用も含めて広報紙を発行することとしました。

皆さんのご愛読をお願いするとともに感想やご意見等お寄せいただければ幸いです。

タイトルについて

「森（モリ）・盛（モリ）・オホーツク」

このタイトルには、「森のことを盛りだくさんに伝えたい」という思いとその決意を込めました。

そして、オホーツクの地域が、読んでくれた方が**元気モリモリ**…になればナンテね！

北海道森林管理局 常呂川森林ふれあい推進センター

090-8588 北海道北見市北斗町3丁目11-3

TEL 0157-23-2960 FAX 0157-26-2144

http://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/tokorogawa_fc/